１学期終業式講話

おはようございます。

本日をもって１学期が終了となります。皆さんにとって４月から７月までの４か月間の感想はいかがだったでしょうか。３年生にとっては最後の南稜祭文化の部の開催であったし、１年生にとっては入試を終えて入学して初めてずくしの高校生活であったでしょうし、２年生にとっては中堅どころとして学校に慣れた４か月間であったと思います。その中でどれだけ失敗したでしょうか。

「失敗しろ」とよく言っていますが、２、３年生は昨年度のペップトークの講演で、肯定的な言葉かけを聞いたかと思いますので、「失敗しろ」では否定形になってしまうので、違和感を感じるかもしれません。この失敗を挑戦という言葉に置き換えれば納得いくんじゃないでしょうか。「失敗しろ」とは「挑戦しろ」ということになります。そういう意味で、この１学期間、皆さんはどれだけ失敗したでしょうか。

私は様々なところで失敗ばかりしました。そんな積み重ねでした。では、これまで生きてきた中で一番大きな失敗は何でしょうか。少々思い出してみてください。自分は 62 年間生きてきてこれは大きな失敗だなと思ったのは、中学校３年生の時の英語レシテーション大会の時かなと思います。まあ弁論大会と言ったものでしょうか。英語の教科書から単元を選んで、その英文を暗唱するものです。先日行われた全商英語スピーチコンテストと同じです。夏休み前に英語の担当の先生から出場を言われ、９月になって大会が控えていました。

実は暗記することが苦手で、前年度出場した仲間からは、情景を思い出して暗唱するといいとか、日本語訳をしっかり頭に入れておけばいいとか言われたのですが、途中でつっかえてしまったらどうしようとか、途中で思い出せなくて立ち止まったらどうしようかという否定的な思いが脳裏をかすめながら暗唱していました。いざ大会になって不安でどきどきしながら出場しました。この時、話している途中で次の英単語が出てこない体験をしました。真っ白になるということはこういうことなのかと思うくらいで、10 メートル先に英語の担当先生の顔は見えましたが、睨んでいるようにも見えました。次の英単語が口をついで出てくる間が途方もなく長く感じられ、時が止まったかのような錯覚を覚えました。

散々な出来で降壇し、仲間の発表を聞きました。一人は立ち止まることなく発表することができました。もう一人は私と同じように次の単語出てこずに、立ち止まって長い間時間が経過しました。おそらく自分もそうなったら嫌だなという思いが、彼の脳裏をかすめたのかもしれません。皆さんにもこんな場面はあるんじゃないでしょうか。サッカーのＰＫ戦などはいい例ですね。

家へ帰って、母親が「どうだった？」と案の定聞いてきましたので、「別に…」と言ったか、「まあ、何とかね」とか短い言葉で返した気がしました。

このレシテーション大会の失敗はトラウマとなり、暗記することが怖くなりました。それでも高校入試が控えていましたので、受験勉強のために暗記しなくてはなりませんので、空

で暗記するのではなく、紙に書いて体を使って覚えるように工夫しました。この経験は高校をへて、大学に入った時にも生かされました。大学に入って親からの仕送りを補充しようとアルバイトを始めました。大学は京都でしたので、京都国立博物館のレストランでウエイターをやりました。蝶ネクタイをして食事のチケットを切って厨房とテーブルを行き来する仕事ですが、混雑していると順番が狂ってくるんですね。そうなるとお客様も怒るし、厨房で料理しているマスターも怒る。「なにやっとんね」「はよう一せんかい」…といった言葉が行き交うわけです。

そうなると、こちらがしっかり各テーブルの注文を頭に入れておかねばなりません。暗記することが苦手な自分は関連付けて覚えることを努めました。柱付近ですわっているおじさんはカツカレーを注文されたので柱のカツカレーとか、入口付近ですわっている女性はレモンスカッシュを注文されたので、レスカのおばさんとかいうように関連付けて覚えるようにしました。まだ時給が 400～450 円頃の時代で、お金を稼ぐことの大変さを知ることにもなりましたが、暗記が苦手であることを克服しようとしたことが一番大きな体験だったかもしれません。今でも暗記は苦手ですが、失敗体験の中から生まれるものはいくらでもあるように思います。

もう一つ夏休み前に伝えたいことは、「自分の身は自分で守る」ということです。一つは熱中症です。数年前に西部の高校生がサッカーの練習中に熱中症となり、長く入院した後に亡くなった事案があります。少々補償金・見舞金で関連する仕事をしていたので、熱中症の怖さを知りました。

二つ目は自転車事故です。１学期間かなりの自転車事故で大きなけがをした者もありました。自転車に乗り慣れていないこともあったかと思います。ヘルメットの必要性もいずれ義務化されるでしょう。バイクも私は大学時代にノーヘルでバイクに乗っていました。当時はヘルメットの義務化はなかった時代です。その後、義務化されました。自転車も同様になると思います。その時に自分の身は自分で守れるかです。是非安全に気をつけてほしいと思います。明日から 40 日間の夏休みです、充実した毎日を過ごしてください。以上で講話とします。

（令和５年７月 21 日、終業式）